

20世紀最大の アヴァンギャルド、 次の100年へ——。

アンドレ・ブルトンを首領とした、
20世紀最大といって過言なき
アヴァンギャルド運動。
1924年の『シュルレアリスム宣言』から1世紀——
理性からの解放の試み、
「夢」「無意識」の探求から生まれた
詩・絵画・オブジェ・小説・映画は、
なぜいまなお、表現者たちを
惹きつけてやまないのだろうか。
シュルレアリスム運動のたちあげにかかわる
最重要詩集『磁場』の新訳、
本邦初のマグリットのテキスト群の紹介、
あるいはスーポーがパリを舞台にして書いた
『ナジャ』と並ぶシュルレアリスム小説、
霊媒詩人デスノスの麻薬小説、
キャラントンのメキシコ魔術的小説など、
多方面からその魅力を味わう、
シュルレアリスムの次の100年に向けておくる
初訳・新訳シリーズ。

André Breton

Philippe 〈シュルレアリスム叢書〉 全5巻

Paul Éluard

Robert Desnos

アンドレ・ブルトン、フィリップ・スーポー、
ポール・エリュアール 中田健太郎 訳

René Magritte

『磁場・処女懐胎』

ISBN978-4-336-07702-8

Leonora Carrington

フィリップ・スーポー 谷昌親 訳

André Breton

『パリの最後の夜』

ISBN978-4-336-07703-5

Philippe Soupault

ロベール・デスノス 谷昌親 訳

Paul Éluard

『ワインが樽から抜かれたら……』

ISBN978-4-336-07704-2

Robert Desnos

ルネ・マグリット 利根川由奈 訳

René Magritte

『目に見える詩 マグリット著作集』

Leonora Carrington

ISBN978-4-336-07705-9

André Breton

レオノーラ・キャラントン 野中雅代 訳

Philippe Soupault

『石の扉 キャラントン中・短篇集』

ISBN978-4-336-07706-6

Paul Éluard

四六判上製・筒函入・各巻平均400頁

Robert Desnos

平均予価4000円+税

René Magritte

2025年4月刊行開始

Leonora Carrington

装幀：大倉真一郎
表紙：ルネ・マグリット《世界大戦》1964年
中面：アンドレ・ブルトン、1924-29年、
ボンビドゥー・センター蔵

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15
TEL : 03-5970-7421 FAX : 03-5970-7427

<https://www.kokusho.co.jp>
info@kokusho.co.jp

Collection

“Le Surréalisme”

Collection

“Le Surréalisme”

Collection

“Le Surréalisme”

Collection

“Le Surréalisme”

Collection

“Le Surréalisme”

Collection

“Le Surréalisme”

Collection

“Le Surréalisme”

Collection

“Le Surréalisme”

Collection

全5巻
〈シュルレアリスム叢書〉

“Le Surréalisme”

Collection



Collection
“Le Surréalisme”
André Breton
Philippe Soupault
Paul Éluard
Robert Desnos
René Magritte
Leonora Carrington

国書刊行会

André Breton

アンドレ・ブルトン、フィリップ・スーポー、
ポール・エリュアール 中田健太郎 訳

磁場・処女懐胎

André Breton, Philippe Soupault, Paul Éluard
Les champs magnetiques
L'immaculee conception

自動記述の最重要書物

自動記述の最初の実験であった『磁場』。それは、シュルレアリスム運動のたちあげにかかわる最重要の詩集でありながら、奇妙にも伝説のヴェールに包まれている。オートマティスムの理論的展開のあとを刻んだ『処女懐胎』。それは、狂気の擬態の実験をふくむ、シュルレアリスムのハードコアにありつづける名篇。人工知能が文章を書いているという時代に、あらためて問う、人間の試みた自動的・機械的な記述の意味。待望の新訳。

Philippe Soupault

Paul Éluard

フィリップ・スーポー 谷昌親 訳

パリの最後の夜

Philippe Soupault
Les dernières nuits de Paris
et autres histoires

謎めいたファミファタル

1920年代の夜のパリ。謎の女ジョルジェットにいざなわれた語り手はセーヌ河岸で犯罪を目撃する……。ジョルジェットはパリだ、パリの夜そのもの。幻想・神秘・偶然が、この娼婦のファミファタルの圏内でうごめく——『ニック・カーター』を愛読していたスーポーが綴る犯罪小説は、読者を闇の迷宮へと誘う。『ナジャ』と比べて味わいたい、パリとパリの女の驚異を描いたシュルレアリスム小説。初訳短篇『オラス・ピルエルの旅』『ニック・カーターの死』を併録。

Philippe SoupaultRobert Desnos

Le SurréalismeRené Magritte

驚異はつねに美しい、どのような驚異も美しい、
それどころか驚異のほかに美しいものはない。

(アンドレ・ブルトン『シュルレアリスム宣言』)



Robert Desnos Le Surréalisme

Robert Desnos Le Surréalisme

ロベール・デスノス 谷昌親 訳

ワインが樽から抜かれたら……

Robert Desnos
Le Vin est tiré...

シュルレアリスム×ドラッグ

デスノス自身のドラッグ体験をもとに、大麻に溺れる若者たちを描く。かつて、デスノスが熱愛した歌手イヴォヌヌ・ジョルジュの寿命を縮め、彼女の影響もあって摂取しはじめたデスノス自身をもその虜とした麻薬の悪影響を告発、かつ、ジャンキーを悪法で弾圧する社会をも告発。シュルレアリストたちが催眠実験をおこなった「眠りの時代」を代表する詩人デスノスが書いた、唯一の小説。翌年レジスタンスの闘士としてナチに捕まる詩人が残した抵抗の書。本邦初訳。

ルネ・マグリット 利根川由奈 訳

目に見える詩 マグリット著作集

René Magritte
Sélection du
Écrits complets

デペイズマンの秘密、語る

ときにはだまし絵風に、意外外の組み合わせで見えるものをまどわし続けたシュルレアリスム画家。この突飛な発想はどこからくるのか？ その秘密を、マグリットの言葉を、聞きたくないだろうか？ マニフェスト「陽光に満ちたシュルレアリスム宣言」、絵画観を示す「言葉とイメージ」、人生を振り返る講演「生命線」など重要文章のほか、ファントマ、デルヴォー、エルンストなどについて、ブルトンへの書簡、インタビュー、アフォリズム等々の111篇。マグリットのテキストは本邦初刊行。

Leonora Carrington

レオノーラ・キャリントン 野中雅代 訳

石の扉 キャリントン中・短篇集

Leonora Carrington
The Stone Door
and Other Stories

シュルレアリスム×メキシコ魔術

エルンストと出会いシュルレアリストになり、メキシコに渡り独自のシュルレアリスムを発展させたキャリントン。「〈石の扉〉よ、私を通して、外に出して」とリフレインする少女——占星術・錬金術・魔術が渾然となり、死者の国からハンガリー王を探す魂の遍歴の壮大なメタフィクション「石の扉」。短篇集『七頭目の馬』の抄録「石の扉」を完全版にし中心に据え、戯曲のかわりに新たに短篇3作を加えた20篇。不気味で、残酷で、夢、ブラック・ユーモアの粒ぞろいの奇妙な世界。13篇は本邦初紹介。

Leonora Carrington